

秋葉原の駅前、お集まりの皆様、こんばんは。立憲民主党の松尾あきひろでございます。

今日はこのような雨の中、そして遅い時間に、皆様お集まり頂きまして本当にありがとうございます。選挙戦もいよいよ残す所今日を入れて、後3日となりました。終盤戦に差し掛かってきております。私松尾あきひろ、選挙戦を戦い抜きながら日に日に立憲民主党のかけられている皆様の期待、そして我々が背負ってる大きさ、感じながら戦っております。

(声援に対し) ありがとうございます。

我々立憲民主党には皆様があります。皆様のお力を頂くことが出来るならば、必ず松尾あきひろ、そして全国で戦っている立憲民主党の仲間たち、この選挙戦最後の最後まで戦い抜き必ず勝ち抜くこと、まず持つてお約束させていただきます。よろしくお願ひします。

私、松尾あきひろ、今回の衆議院の総選挙、日本の政治の大きな大きな転換点になる、そのように確信をしております。今回の衆議院選挙で我々が求めている、皆様に判断を求めているのは、これまでのように上から押し付けの政治を続けていくのか、それとも皆様お一人お一人が、ここにいらっしゃるあなた方が、主役になるそんな政治を実現するのか、今回の総選挙は大きな大きな転換点となっているんです。

今回の選挙で安倍政権の信任を許すと、どういう事になるのでしょうか。自分の友だちにタダ同然で国有地を払い下げる、自分の友だちがやっている学校に何十億も税金をジャブジャブと投入する、それを咎められると、記憶がありません、記録がありません、記録は全部捨ててしまいました、そんな政治がこれからも続いていく事になるんです、いいんですか皆さん。上からの押し付けの政治、特定の人だけが利益を得る政治、そんな政治とはもう決別をしなければいけないんです。

安保法制の時を思い出して下さい。あれだけ多くの方が、何千・何万という人が国会に押しかけて、憲法違反の法律は作らないでほしい、平和を守って欲しい、そんな声を皆であげたのに、安倍政権は全く耳を貸すこと無く、そんな人たちがいないかのように法律を強行採決で成立させました。そんな聞く耳を持たない政治、上の限られた人たちが決め下に押し付けるような政治、そんな政治はもう止めなければいけないんです。

(声援に対し) ありがとうございます。私、松尾あきひろ、そして立憲民主党が目指しているのは国民の皆様お一人お一人が、あなた方お一人お一人が主役になれる、みんなで決めることができる皆のための政治なんです。そして我々立憲民主党は、必ずその政治を実現する事が出来ます。我々立憲民主党は、日本で初めて、国民の皆様の声によって、皆様の声で後押しをされて出来た政党なんです。今回の衆議院、大義なき解散から始まりました。

大義なき解散後の一連の政局、バタバタ劇、皆さん覚えているでしょう。あれを見て、多くの国民が思いました。政治家は自分たちの私利私欲のためだけにやっているんだ、バッジをするための寄せ集めなんだ、そんな政治はもう止めてほしいんだ、俺達の不安をきちんと受け止めてくれる、自分たちの声に耳を傾けてくれる、そんな政党を作って欲しいんだ・勝ち上がって欲しいんだ、そんな多くの声が我々、そして枝野幸男に多く寄せられたんです。そして私達と枝野代表と共に立ち上がったのがこの立憲民主党です。我々立憲民主党は、必ず皆さんの声に耳を傾けます。そして皆様と共に日本の政治を作っていきます。政治の主役は政治家ではありません、政党でもありません、国民お一人お一人、ここにいらっしゃる秋葉原にいらっしゃる皆様お一人お一人なんです。今回の衆議院選挙で我々は日本の政治を一步も二歩も前にすすめていきたい、我々が目指しているのは右でもありません、左でもありません、ど真ん中なんです。ど真ん中の政治、本当に国のためになる政治、国民の皆様の為の政治、皆様で作る政治、それを必ず実現してまいります。ぜひとも皆様、我々立憲民主党に力をお与え下さい。皆様のちからがあれば必ず、まっとうな政治、我々実現してまいります。

そして今回の衆議院選挙で、日本に二大保守政党が生まれるかもしれない、そのようにも言われております。しかし、この二大保守政党の成立によって、これまで日本人が大切に培ってきた、育んできた価値観・思いがなくなってしまうかもしれないんです。それは人が人を思いやって生きていける、支え合って生きていくことができる、皆違って皆いいんだ、それが自由なんだ、そういう価値観が日本から失われるかもしれないんです。安倍総理大臣は国民に向かって「こんな人たち」と言っているだけで国民の間に線を引いて、敵と味方に分断しようとしています。自己責任・自己責任の名のもとに、強い者だけがますます強くなり、弱い人達は切り捨てようとしている、希望の党の党首もそうです、人が考えていることによって選別をして、自分の考えに合わない人は排除しようとしている、そんな人達が権力を持った時に何が起るか、国家権力が国民の考えている事で敵と味方に分けて、自分たちの意にそぐわない人は排除する、そんな政治が行われようとするんです。我々立憲民主党が目指しているのは、人が人を選別して排除をする国ではありません。我々が残したいのは、子どもたちに残したいのは誰も排除されない国なんです。人が人を思いやっていて支え合って生きていける、助け合っているそんな社会を作っていかなければいけないんです。ぜひとも皆様の力をお貸し下さい。

我々立憲民主党は出来てからまだ2週間あまり、小さな小さな政党かもしれませんが。まだまだ何の力もありません、時間もない、人手もない、しかし我々にはここに国を変えていきたい、まっとうな政治を実現したいんだという強い信念があります。我々の信念を曲げるくらいなら死んだ方がましだ そんな風に思っている筋が通っている人間が集まっているんで

す。ぜひとも皆様のちから、我々には皆さんがいるんです。皆様のお力、ここにお集まりの方、貴方がたお一人お一人のお力を私松尾あきひろ、そして立憲民主党の仲間たちにお与え下さい。皆様の力をお与え頂ければ、必ず必ずこの総選挙、最後の最後まで戦い抜き、勝ち抜いてまいります。ぜひとも皆様の力を私、松尾あきひろにお与え頂けますよう、改めてお願い申し上げまして、私、松尾あきひろのお訴えとさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。